

私たちの町議会 りくべっ

No. 99

発行日・令和2年2月21日
編集・議会運営委員会
発行・北海道陸別町議会

12月定例会

陸別町議会12月定例会は、昨年の12月10日、11日の2日間開かれました。今定例会では、委員の選任1件、条例案10件、補正予算案6件、発議案1件を可決し、閉会しました。

補正予算質疑から

○中学生等海外派遣事業 △60万円

Q 減額の理由は、旅行代金が安くなったのか。それとも、対象生徒数の減や不参加の生徒がいたことによるものか。

A 中学2年生13名全員が参加した。

ただし、燃油サーチャージ（航空機燃料の原油

価格の一部を乗客が負担する制度）の改定を予想し、一人につき2万円多く見積もっていたこと及び、旅行代金が安く済んだためである。

○文化団体活動推進事業 15万円

Q 全道大会に出場する陸別リコーダーアンサンブルクラブの、参加者及び指導者の経費をスポーツ振興基金運用規則を準用し

3分の2以内の額を補助することのことだが、引率する指導者分は、全額補助するように運用基準を見直す考えはないか。

A 指導者分については、今後、近隣町村等の状況を見ながら調査検討する。

○指定寄付金

Q ふるさと納税の返礼品の発送及びお礼状等の関係で、一部苦情があったと聞いている。今後は、

委託業者ではなく、町職員がその対応に当たることは

できないのか。また、新しい返礼品を開発する考えはないか。

A 委託業者において対応できていないのであれば、改善を要請していく。

また、町職員の対応については、検討したい。返礼品については、色々と協力をお願いをしながら努力していきたい。

○備荒資金組合防災資機材譲渡代金（庁舎電算機器）

Q 備荒資金組合から起債をして、庁舎及び小

中学校の電算機器（パソコン等）を更新するものだが、パソコン等は組合側で購入し、その後当町に譲渡されるのか。それとも、当町が備荒資金組合から委任を受けて購入するのか。また、小中学校へのパソコン等の納品は完了しているか。

A 備荒資金組合において、パソコン等を調達し、町に譲渡されている。9月末までに納品は完了している。

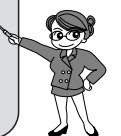
令和元年度 各会計補正予算

| 会計名 | 補正額 | 総額 | |
|------|------------|-----------|------------|
| 一般会計 | △ 29,443万円 | 46億 60万円 | |
| 特別会計 | 国保直診施設勘定 | △ 536万円 | 3億 2,514万円 |
| | 簡易水道事業 | △ 84万円 | 1億 7,221万円 |
| | 公共下水道事業 | △ 2,668万円 | 1億 5,111万円 |
| | 介護保険事業勘定 | 276万円 | 3億 1,540万円 |
| | 後期高齢者医療 | △ 76万円 | 4,886万円 |

まめ辞典

北海道市町村備荒資金組合とは…

昭和31年3月から北海道内の全市町村がこの組合に加入しており、災害等による減収等を補填している。今回、小中学校のパソコン整備の経費については、今後5年間に亘って償還（金利含む）していくことになる。



一般質問

12月定例会では4人の議員が一般質問を行い、町政を問いました。その内容を要約して掲載します。

渡辺 三義 議員

通学路の安全確保と教育環境の取り組み

Q 通学路における東1条仲通りと下陸別連絡線が交差する箇所及び駐在所付近の横断歩道は、暗くなると歩行者の姿が確認しづらいことから、街路灯の補強をすることを考えはないか。
(有田教育長)

A 一部の生徒からは暗いこの声もあるが、小学生は日没前の下校であり、中学生は冬季間の下校を、夏場よりも早目に行っているため、今のところ補強は考えていない。

Q 共栄第1の東2条仲通りと東1条2丁目通りが交差する箇所は見通しが悪く、通学路の安全確保のため、横断歩道を設置することを考えはないか。
(教育長)

A 危険性はあるが、事故もなく交通量も少ないことから今は考えていない。

Q 高規格道路が陸別まで開通することで、交通量が増え、通学時の事故等も懸念されることから、国道242号線の栄町地区の横断歩道に、手押し式信号機の設置を要請する考えはないか。
(教育長)

A 交通量が増えていることは理解しているが、通学路は別のルートで設定・指導しているため、要請の考えはない。

Q 児童・生徒の登下校時における安全対策と見守り体制の状況は。
(教育長)

A 年度初めと二学期の始まりに、小中学校の教職員が、朝の見守りと合わせて通学の安全指導を実施している。また、子ども達の安全を守る校区支援ネットワークの活動として、毎月1日と15日に地域住民の協力を得て、登下校時の見守りを実施している。その他、民間事業者の協力もあり、巡回パトロール等も行

われている。

Q 地域の特色を活かした学校教育の取り組み状況は。
(教育長)

A 現在、小中一貫教育を進めている中、地域の教育資源を活かすために、陸別ふるさと科を設けた。小学校では、酪農や乗馬体験、森林教室を実施し、中学校では、土曜授業をはじめ、企業や商工青年部、農協青年部等との交流を行いながら社会学習を進めている。

Q 将来を担う陸別の子ども達の教育環境への考えは。
(教育長)

A 基本的には教育行政執行方針を基に進めていく。現在は、人口減少の厳しい環境に立たされているが、一番大切なことは人づくりであると認識し、全ての子どもや町民が笑顔でいられる街づくりをこれからも進めていく。

久保広幸 議員

町財政について

Q 町財政は、普通地方交付税や臨時財政対策債減少などの影響で財政規模が縮小化傾向にある中で、人口の流出につながるような住民サービスの低下は避けなければならない。いわば二律背反の行政運営が求められる極めて難しい局面になっていると思うが。
(野尻町長)

A まったくその通りで、普通地方交付税など一般財源の減少を補うために平成26年度以降、財政調整基金の繰り入れて財源不足を補う状況が続いている。

Q 国は歳出の効率化を推進する観点から、民間委託等の業務改革を実施している地方公共団体の経費水準を、地方交付税算定のための基準財政需要額に反映させるとしているが。



ここが聞きたい

一般質問

Q (町長) 基準財政需要額算定の16業務において、民間委託を実施していることを前提に単位費用が設定されており、当町の影響額を単位費用から試算すると約1千8百万円程度の減少になっている。国としては今後、この考えを推進するとしている。

A (町長) 基準財政需要額算定の16業務において、民間委託を実施していることを前提に単位費用が設定されており、当町の影響額を単位費用から試算すると約1千8百万円程度の減少になっている。国としては今後、この考えを推進するとしている。

Q 当町の基準財政需要額の算定に影響のある業務で、今後、更に委託が検討されているものがあるのか。

A (町長) ゴミ処理や庁舎の夜間警備などの業務については、これまでに民間委託を積極的に進めており、現時点では、新たに民間委託により効率化できる業務は無いと考えている。

Q 創立を進めている官民連携組織の業務として、指定管理者制度による公共施設の管理も含まれていたと思うが、これによ

て、町財政の改革が期待できるのか。

A (町長) この会社が事務業務を集約し、町職員の業務量の負担軽減が図られ、結果として財政負担の軽減に寄与することも考えられるが、大きな財政改革につながるかどうかは、今後の事業展開に期待したい。

次期地方版総合戦略等の策定について

Q 来年度からの5か年間で計画期間とする次期地方版総合戦略等の策定スケジュールと基本目標等の検討状況を伺う。

A (町長) 年度内の策定に向けて、総合戦略検討会において現行計画の検証結果を基本に、策定中の第6期総合計画との整合性を図りながら取り進めている。

基本目標は現行計画の継続になるが、社会情勢の変化を反映させる必要がある。

谷 郁司 議員

第6期総合計画における公共施設の整備計画と優先順位は

Q タウンホールの音響機材が約30年経過して老朽化しているの、更新する考えはないか。

A (有田教育長) タウンホールの維持管理設備は4系統あり、これら全て更新すると、約2億円程掛かる。音響設備だけの更新でも、約6千3百万円掛かる。次年度は、ワイヤレスマイク2本分の更新を考えている。

Q 町民プールは建設から37年が経過し老朽化が目立つようになってきている。特に、雨漏りや採光性が悪く水温が上がりがつらいため、建て替えの計画はないか。

A (教育長) 町民プールの建て替えには、約5億円が見込まれる。また、各スポーツ施設も30年を超えているが、町民プールは、最優先

の施設として整備計画を策定し、検討していきたい。

Q 旧中斗満小学校跡の郷土資料室周辺の整備及び屋根を塗装する計画はないか。

A (野尻町長) 中斗満小学校は平成9年に閉校し、平成23年に屋根と廊下の修繕を行っている。また、郷土資料室として整備し、展示品の見学も実施している。今後は、公共施設の総合的な営繕計画の中において、改修等を行っていききたい。

Q イベントセンターにおいて、屋外での各種イベント時に会場全体に音が届くように音響設備を改善する考えはないか。

A (町長) 屋外ステージは、年3回程使用している。音響設備は、各主催者側で用意したものであるが、十分な点があれば、主催者側と相談したい。

「次のページへ続く」

一般質問

Q 勲祢別の中間ごみ処理施設内の資源ごみをプレスする場所の労働環境が悪い(雨・風・寒さ)ので、改善策はとらないのか。

(町長)

A 特に施設内の労働者からの改善要求がないため、今は建物を改善する考えはない。

Q 中斗満小学校跡地にある「陸別高感度地震観測施設」周辺の立木等を除去すべきではないか。

(町長)

A 地震観測施設は、平成12年に設置され、町のものではないが、周辺の管理は町が行なうため、立木等は伐採していく。

Q 温泉スタンドを民間業者に譲渡し、民間のノウハウを活かした活用方法を求めているどうか。

(町長)

A 平成6年に開設したが、最近では温泉水の濁りが増え、温度も当初の時よりも低くなっている。今

後は、設備投資の関係から廃止もあり得るが、譲渡の要請があれば検討してみたい。

三輪 隼平 議員

子ども達の多様性に向き合う教育について

Q 個性のある子ども達への教育現場の取り組みは。

(有田教育長)

A 小中学校それぞれに特別支援学級の在籍があり、各担任等において支援している。また、中学校の普通学級においても、習熟度別にグループ学習や、全員が理解できるように、複数の教職員で授業へのサポートを行っている。

Q 教職員と教育委員会との連携及び先生方の子ども達への想いは。

(教育長)

A 小中学校だけでなく、保育所等とも連携を行い、情報も共有している。多岐にわたる業務について、

陸別の先生方は大変頑張っていると思う。

Q 読み書き障害への取り組みと、ICT教育におけるタブレット、電子機器の活用は考えているか。

(教育長)

A 読み書き障害や類似のケースにおいて、タブレット等の活用は十分に活きると思う。既に小中学校ではパソコンを整備し、新たな教育課程の編成中であり、ICTの準備を少しずつ進め、有効に活用していきたい。

町と町民との情報共有について

Q 繋がりが強い陸別の特徴の一つである自治会の役割はどのように捉えているか。また、自治会長会議を開催する目的と、会議結果の周知は。

(野尻町長)

A 人口減少により再編が進む事実もあるが、地域づくりを地域と行政が

共に考えていくため、その最小単位である自治会活動の充実が欠かせない。地域の課題解決に向け、各自治会からの要望を聞くのが自治会長会議であり、その結果は、町広報誌等で周知している。

Q 町民との意見交換会や町の今後を知るための機会を設定する考えはないか。

(町長)

A 過去、全町民を対象とした町政懇談会を実施してきたが、出席者が減少したこともあり、平成10年度から自治会長会議を開催している。平成23年度の自治会長会議の際、各自治会からの要請があれば出向くと提案しているが、現在まで1件もない。町民との対話は重要であると認識しているため、要請があればこちらから出向いて対話を行っていききたい。



議会運営委員会 道内視察報告

議会運営委員会

委員長 多胡裕司

斜里町 タブレットを 使用して情報の共有

道内の町村議会において、いち早く議会活動用としてタブレットを導入した、斜里町議会を11月20日に視察しました。

斜里町議会は、町の例規集が電子化に変更したこと、から、議場に議員個人のパソコンの持ち込みを許可し、その後、高度で複雑、多様な情報社会に対処していくために、公費でタブレットを議員全員分導入していました。

タブレットを導入したことで、情報の共有をはじめ、意見調整や議事録及び各種委員会記録等の閲覧が容易にできるようになっていました。

また、タブレット等の情報通信ツールを有効に活用することにより、議員のな

り手不足の解消、責任ある意思決定、議員の資質向上等に繋がることに期待したいと述べられていました。当町議会においては、タブレット等の導入に係る費用対効果を更に検証していく必要があるため、今後も引き続き調査、研究を行っていきます。

美幌町 議会広報 コンクールで受賞

毎年、北海道町村議会議長会が主催する、議会広報コンクールにおいて、受賞実績のある、美幌町議会を11月21日に視察しました。

議会広報の受賞については、議会事務局専任の職員がいたこともあり、昭和56年の第1回議会広報コンクールから、全国・全道において18回の受賞歴がありました。専任の職員は既に退職されていましたが、その編集技術は現在の職員に継承され、受賞を続けていると

のことでした。

議会広報を作成するための心得としては、議場での質疑や一般質問をそのまま載せても町民は理解できない。そのため、丁寧に分かりやすく載せることが大切であり、簡単明瞭にまとめ、読み手に読む気にさせることが大切である等のアドバイスを頂きました。

今後においては、視察で得た知識を取り入れながら、読者の視点に立った議会広報の作成を目指していきたいと思えます。



第4回臨時会 11/11

教育長の選任

有田勝彦氏の選任に同意しました。(再任)

一般会計補正予算(第6号)を審議し、可決しました。

議会の動き

- 【11月】
- 11日 議会運営委員会 第4回臨時会
- 20日 議会運営委員会
- 21日 道内行政視察
- 21日 議会運営委員会
- 【12月】
- 2日 議員協議会
- 6日 議会運営委員会
- 10日 12月定例会
- 議員協議会
- 総務常任委員会
- 産業常任委員会
- 11日 12月定例会
- 議員協議会
- 議会運営委員会
- (広報編集会議他)
- 20日 議員協議会
- 15日 議会運営委員会 (広報編集会議)

東京陸別会に出席して

報告者 議長 本田 学

第18回東京陸別会の総会及び交流会が11月16日(土)、東京都内の全国町村会館において開かれ、陸別町からは、早坂副町長、石橋商工会長、芳賀総務課長と本田が出席しました。



会場には、東京陸別会の宮崎会長、千葉県酒々井町の河南副町長外をはじめ、会員、友好市民の会から総勢61名の皆さんが出席されました。早坂副町長からは、今年4月



に行われた町長、町議会議員選挙のほか、当町の近況について話され、私からは、9月13日に、NHK連続テレビ小説「なつぞら」のロケセット(サイロ)が、駅前多目的広場において公開されたこと等を話しました。交流会では、陸別町の昔の話や現在の状況について会話する中、出席された皆さんから激励を受けたり、これからの町づくりへのパワーを頂くなど、有意義な時間を過ごしました。

参加された皆さんは、次回の再会を楽しみにして、大盛況の中お開きとなりました。

条例・その他の審議結果

| 件名 | 審議結果 |
|---|------|
| ● 陸別町保健センター条例の一部を改正する条例 | 可 決 |
| ● 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 | 可 決 |
| ● 特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 | 可 決 |
| ● 会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例 | 可 決 |
| ● 一般職の任期付職員の採用等に関する条例 | 可 決 |
| ● 職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例 | 可 決 |
| ● 職員の育児休業等に関する条例 | 可 決 |
| ● 地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例 | 可 決 |
| ● 人事行政の運営等の状況の公表に関する条例 | 可 決 |
| ● 予算の執行に関する町長の調査等の対象となる法人を定める条例 | 可 決 |
| ● 議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例(発議案) | 可 決 |

監査委員の選任

1月26日に任期満了となる共栄第一の飯尾清氏を再任したいとの提案があり、同意することに決定しました。

人権擁護委員候補者の推薦について

人権擁護委員候補者の推薦について意見を求められ、児玉将機氏は適任と答申することを決定しました。

次回の定例会は3月に開催されます。

詳しい日程等は議会事務局にお問い合わせ願います。皆さんの傍聴及びご意見をお待ちしております。

陸別町議会 ホームページのご案内

一般質問の録音を聞いたり、会議録などの閲覧ができるようになりました。

【陸別町議会ホームページ】
<http://www.rikubetsu.jp/gikai/>